

研究所若手アンサンブルワークショップに参加し研究成果を発表しました(2015/7/23)

テーマ：研究所若手アンサンブルプロジェクト

URL：http://www.fris.tohoku.ac.jp/institutes_ensemble/

場所：東北大学片平さくらホール

2015年7月23日(木)、『研究所連携アンサンブルワークショップ』が東北大学片平さくらホールで開催されました。本ワークショップは東北大学附置研究所間の若手研究者を中心とした交流に重点を置き、「仲間の輪を拡げれば、もっと研究が楽しくなるかも!？」というモチベーションのもと、分野横断的・学際的な共同研究に発展させることを目的としています。

本ワークショップでは災害科学国際研究所から7件のポスター発表があり(一覽参照)、災害リスク研究部門の王欣助教が優秀ポスター賞を受賞しました。他に、災害リスク研究部門の有働恵子准教授・サッパシー アナワット准教授、地域・都市再生研究部門の森口周二准教授、災害医学研究部門の愈志前助教、情報管理・社会連携部門の佐藤翔輔助教、人間・社会対応研究部門の行場絵里奈特別教育研究教員が参加しました。また、災害科学国際研究所を訪問する研究所ツアーも実施されました。今後も当研究所では文理融合の学際研究を深化させるため、本連携プロジェクトに積極的に参加していきます。

【ポスター発表一覽】(下線は、災害研所属教職員)

王欣：スマートデバイスを用いたリアルタイム構造振動計測手法の開発

高村まや、有働恵子ら：地中レーダ(GPR)を用いた津波後の砂浜回復過程把握技術

サッパシー アナワット：グローバル自然災害研究に関する連携強化プロジェクトーロンドン大学との連携

森口周二：防災・減災のための数値シミュレーション

行場絵里奈：改訂前後の津波警報に対する一般地域住民と大学生の認識の比較研究

愈志前ら：脳機能と精神疾患病態を規定するグリア機能の多様性

佐藤翔輔：わたしのアンサンブル災害研究たいけん



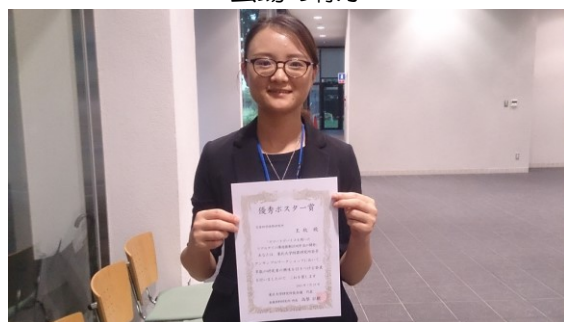
災害研ツアー見学の様子



会場の様子



ポスターセッションの様子



優秀ポスター賞を受賞した王助教

文責：呉 修一(災害リスク研究部門)